

幼児だより3月号

春の息吹を感じる3月、あと一か月でくじらさんは小学校へ、いるかさんらっこさんは進級を控えています。初めは自分の事で精一杯、ばらつきが見られたそれぞれのグループが、様々な経験を通して、一つの絆で結ばれ、共に成長し合う仲間となりました。

4月への大きなステップとなるように、一日一日を丁寧に過ごしていきたいと思います。

くじらさん合宿保育



前日に食料の買い出しをして、準備万端！！

午前中は、大庄小学校へ行き、蓬川公園で遊んで帰っていきました。夕方からはみんなで夕食作り。

ピザの生地作り、トッピングの準備等、頑張りました。夜は、赤ちゃんの頃の写真をみました。

そこに、天狗からの手紙が！

天狗に隠された歯ブラシセットを探しに、修行へと向かったこどもたちです。



節分



赤鬼・青鬼登場！

【おにはそと ふくはうち】
心の中にある鬼もやっつけようと、赤鬼、青鬼に向かってたくさん豆をまきました。





くじらさんに秘密のプレゼント



親子DAY



お忙しい中、親子DAYにお越しくださりありがとうございました。
 そら G…廃材を使った楽器作りをした後、その楽器を使ってリズムあそびや、曲に合わせて合奏を楽しみました。
 うみ G…お子さんとのふれあいあそびをしてから、チームに分かれて新聞紙で風船運びとトイレットペーパーの芯通しゲームをして楽しみました。

こどもたちはおうちの方と過ごす時間をとても喜んでいる姿が印象的でした。

そらG



どんな楽器をつくる？



作った楽器でリズムあそび♪



うみG



ふれあいあそび



チームに分かれてゲーム



Rくんが描いた『てんぐのすむやま』



1月、くじらさんが廃線ハイクに行ってきました。こどもたちは行く前から【わんぱくだんのてんぐのすむやま】という絵本を読んでもらっていて、「自分たちが行くところには天狗がいるかもしれない」と思い、当日を迎えました。

Rくんも天狗の存在を感じながら、廃線を歩いていました。

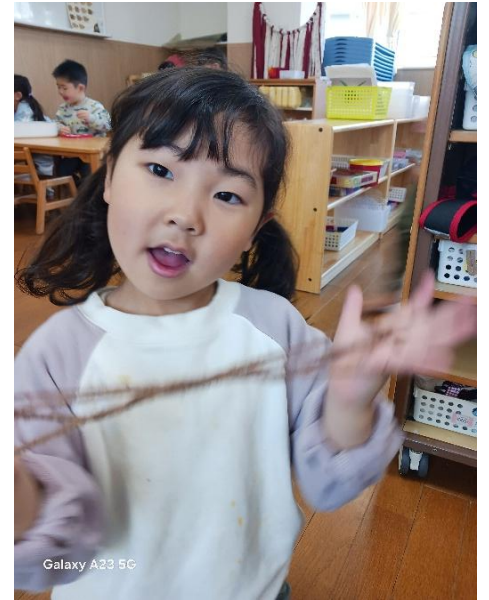
いくつかのトンネルを過ぎた時、崖がありました。「この上には天狗の家があるかもしれない」という話になり、何人ものこどもたちが、がけのぼりにチャレンジしました。もちろんRくんもチャレンジ。思った以上に高さを感じ、途中で園長先生に体を支えてもらいながら下りてきました。

さて、廃線ハイクを終えた、数日後、振り返りをして絵を描くことになりました。Rくんも描き始めました。「これがトンネル」「これがバスやで」印象に残ったことをどんどん描いていきます。「これな、天狗がすんでいるところ」と言って描いたのは、あの崖でした。丸がくっついていて、Rくんが登った崖だとすぐに分かりました。

Rくんの絵は体験して心が動いたことを自分なりに表現していると感じました。

3月で卒園ですが、心が動く経験をこれからもしてほしいと思います。

ハマるってすごい☆



「せんせい、いろいろできるようになりたいねん。」
「いっしょにしよ。」
「おしえて。」
「たのしいな。」

これは
4だんばしご！！

Hちゃんにとって、あやとりはとても夢中になる遊びのひとつだったようで、登園するとあやとりを持って技を磨く毎日でした。ひとつ技ができるようになると楽しくなり、「ちがうのおしえて。」とどんどんできることが増えていきました。【ハマる】ってこういうことだよね～、どんどん自信がつくよね～、と傍で見ていてうれしくなりました。今では、あやとり先生として友だちに教えてくれるレベルです。年中児でこれだけ出来たら大したものですよ！！これからも、ハマる遊びをどんどん提供し、こどもたちの魅力を引き出していきたいと思います。

2026/3 うみヴィジブル

ぼくにもできるかも

ジグソーパズルをしていた女の子の傍にいたEくん。

そのうち、パズルの一つがめくれている事に気付いて保育士に持ってきてくれました。

Eくん「せんせい、これ」

保育士「あ、めくれているなー。のりで貼ろうか」

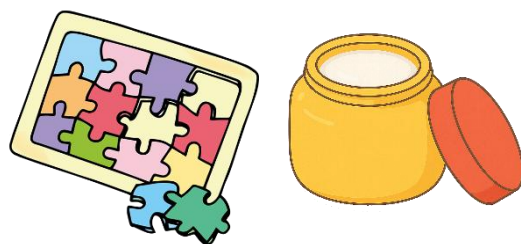
そう言って、Eくんの目の前でのりを使ってパズルを修しました。

数分後…



Eくんがパズルにのりを貼っています。先程保育士が修したパズルとは別のパズルです。

他にもめくれているパズルがあったようで自分から製作コーナーのでんぷんのりを出して修理してくれています。



修理が終わるとパズルをしていた友だちの所へ持って行き、見せていました。

Eくんはまだまだ自分の事で精一杯で、どちらかと言うとお世話を焼かれる側になることが多いんです。

そんなEくんが保育士の様子を見て、パズルの修し方を学んだ後、自分でもパズルを直してみよう！と考えてくれたこの瞬間が素敵だな、成長したなって思いました。

今後もいろんなことを学んで自分なりに挑戦してくれたらうれしいです。

年下のおともだちを思う気持ち



そら G で、しっぽ取りをしました。しっぽを取られた子は、ベンチにいくルールで、らっこの Y くんがしっぽを取られて固まっています。そのことに S ちゃんが気づき、「Y くんこっちおいで」と声をかけ、ベンチに連れて行ってあげていました。

そして、膝に座らせてあげています。



←みんなで輪を作るために率先してらっこさんの手を取り、輪に入れてあげる S ちゃん。

異年齢での集団遊びの中で陰の立役者な S ちゃん。

「まめこ」という、異年齢で遊ぶ際に年少者を仲間外れにせずに、独自のルールで参加する思いやりの伝統文化がありますよね。最近でもあるのでしょうか？あまり異年齢で遊ぶ機会も少なくなっているのではないのでしょうか？

S ちゃんの思いやりの気持ちが、継承されていってほしいなと思います♡

おしゃれだいすき☆アイドルになりたい

おしゃれをしてごっこあそびをするのが好きなEちゃん。

「せんせいキラキラつくりたい」ということで、どうやって作ろうかと悩み、デザインを描いてもらいました。

「まるいのつくる」と描き、丁度粘土製作をした後だったので紙粘土でネックレスを作ることにしました。

1にちめ



2かめ

首に巻いて長さを考えています



ニスをもって乾かす



早速、おしゃれをしてお掃除

固結びをして完成！

さらに次の日、将来アイドルになりたいという話からマイクを作り、ともだちと一緒に他クラスへ歌いに行きました♪

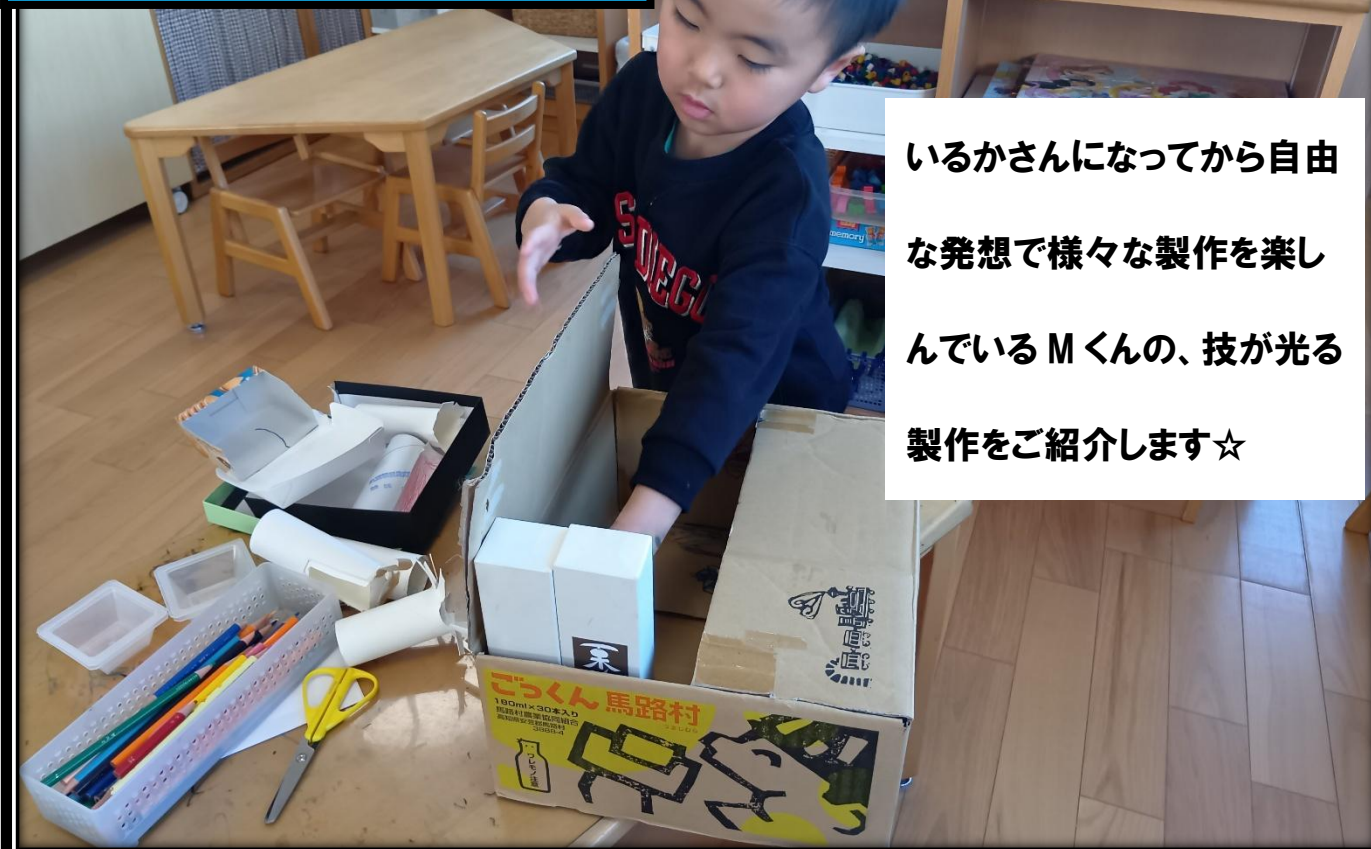


さらに、お家で「プリンセスの靴つくる」と話していたそうで、靴づくりを計画中です。

どんどん楽しくなり、他クラスにまで飛び出していったEちゃん。おともだちも楽しそうと思い、プリンセス仲間が増えていきました。「あしたもつづきしようね」と帰っていき、「きょうもやろう！」と、楽しみにしながら保育園に登園する姿は素敵だなと思います。

2026年3月 そらヴィジブル

技が光る☆廃材製作



いるかさんになってから自由な発想で様々な製作を楽しんでいるMくんの、技が光る製作をご紹介します☆



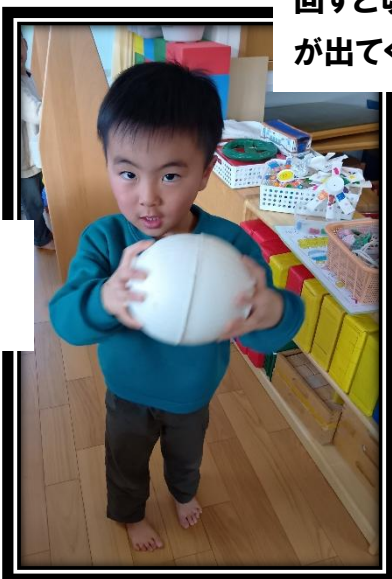
ホチキスの芯の箱をずらすと、オバケが出てきます！



トイレットペーパーの芯を回すと切り込みから文字が出てくる仕組み！



アルミホイルをきれいに丸めるために、お椀に入れて振ってみる！



おうちでもよく製作をしているそうです。ある物を利用して新しく作り出したり、廃材の特徴を上手く生かしたりしていて素敵ですね！

やった！うれしっ！！



はじめは・・・

「やらない」
「やりたくない」
「みてるだけ」

10分後くらい・・・

「やっていい？」

10回くらいとべました！私は、
初めて見たので感動☆
「かっこいいやーん」と
思わずハイタッチ！

なかなか外遊びをおもいきりするタイプではなく、石や枝を集めてチョコチョコ遊ぶタイプのNちゃんです。よく、長縄やグルグルじゃんけんを誘うのですが、その度に「やらない」と断られ、何か楽しさを見出せないのかな、どうしたらやりたい！ってなってくれるかな、と考えていました。今回も、長縄をしている傍に来たので、「する？」と聞くといつものように断られました。今日も・・・と思っていたら、しばらくして「やっていい？」と来てくれました。どうも連続飛びをする自信がないようだったので、手を繋いで練習をしてから挑みました。そしたら、なんと10回連続跳べたんです！本人も喜んで、にっこにこで公園を走って、喜びを表現していました。「どうしてしようと思ったの？」と尋ねると、「たのしい（かな）と思って」とのこと。答える時もにっこにこの最高の笑顔でした。この笑顔のために私たちは保育をしてるんだな～と幸せな気持ちになりました。

2026/3 そらヴィジブル

上手に頼る



Tちゃんの最近好きな遊びはパズルです。パズルの面白さにハマリ、どんどん自分で難しい物に挑戦しています。机上での遊びの面白さを知って、ほかのゲームにも興味がわいてきたようです。

ピースの多いパズルに挑戦していく中で「むずかしい」と思うことも増えてきました。そんな時「だれかてつだって」と、上手に助けを求められるようになりました。そうすると、だいたい、くじらさんの誰かが来てくれます。



ある日の公園で、ブランコに乗っているTちゃんに、くじらのSくんが「おしたるか？」と声をかけてくれました。しばらくしてSくんが押すのをやめて、おともだちと話していると

T 「Sくんおして〜」

S 「ああ、ごめんごめん(笑)ていうか、じぶんでれんしゅうしいや〜」

と、言いつつ押す S くん。二人で笑い合っていて、微笑ましかったです。



「自立」とは、自分ひとりで何でもこなすことではなく、困ったときに「困った」と言って助けを求められることだと思います。そして、何でも人任せにするということではなく、指示待ちにならず、自分で行動するために助けを求めるといったことだと思います。何に困っているのか、どうやって言ったらいいのかを考え、言える力は、小学校以降とても大事な力です。こどもが助けを求めた時「言ってよかった」と思える対応が必要です。T ちゃんは、くじらさんに助けてもらい「嬉しい。言ってよかった」と、日々感じているかなと思います。